

今年も確認!! ハシナガイルカを連れたミナミハンドウイルカ

2016年7月11日、父島のガイドさんから「西島の近くでハシナガイルカの子供を連れたミナミハンドウイルカを見ました」との連絡をいただきました。こうした現象は2013年から連続して観察されていて、これで4年連続の観察事例となりました。

過去の事例より、ハシナガイルカの子供と思われる個体を連れているミナミハンドウイルカはメス個体が多く、観察時期は7月から9月の間に限られていることが分かっています。また驚くべき事に、昨年は授乳しているシーンも確認されました。

今回のイルカについて、実際に撮影した方から写真を見せてもらう機会がありました。確認すると、通常ミナミハンドウイルカが連れている子供よりも、かなり小さいイルカを連れています。子イルカの外部形態から、ハシナガイルカの子供であろうと考えています。子イルカを連れていたのは#146のイルカ。2004年から確認されている個体です。



#146と子イルカ (2016/7/11 岩内氏提供写真)



一週間後に観察された#146 (2016/7/18撮影)

・・・そして1週間後

最初の発見から1週間経過した18日に、イルカ調査隊も#146を発見しましたが、その時には子イルカを連れていませんでした。やはり長くは続かないのかと思っていましたが、7月25日に父島で、その翌日の26日には嫁島でハシナガイルカの子供を連れたイルカの目撃情報が届いています。智島で発見された例では、「ミカワ(#173)」と呼ばれるメス個体が連れていたようです。もしこの記事をご覧になって、写真や動画を持っているという方がいましたら、OWAまでご連絡ください。どうぞよろしく願います。

島で長くガイドをしている方に聞いても、昔は見られなかったとのこと。イルカの社会にいったい何が起きているのでしょうか？

ヒジキムシ、入荷しました!

前回のイルカ通信では、ヒジキムシの紹介をしましたが、あれから島の漁師さんにも確認したところ、メカジキに良く付いているとの情報をいただきました。漁師さんに「もし、今度見つけたら取っておいってください!!」とお願いをしました。すると約一週間後に、事務所に「虫採れたよ」との連絡が入り、無事にゲットすることができました。今話題のポケモンよりもヒジキムシをゲットすることに必死な研究員なのでした。現在、標本にしてOWA事務所に保管中です。ご興味の方は事務所までお越しください。

